

令和8年度 学校経営方針

伊勢崎市立赤堀小学校

【学校教育目標】

豊かな情操と創造性を持ち、たくましく生きる児童を育成する

やる気	何事にも主体的・意欲的に取り組む子供
思いやり	相手の立場に立って考え、協力し合う子供
ねばり	何事も最後までやり抜く子供

心が動くしかけを工夫し

笑顔が輝き、優しさあふれる、楽しい学校

1 児童の生命・身体の安全を守ることが最優先

- ① 緊急時には現場の判断を最優先
 - ・危機管理マニュアルの共通理解
 - ・実感を伴う点検・研修・訓練の実施
- ② 健康要配慮児童等の情報共有
 - ・食物アレルギー対応
 - ・怪我・病気時の保護者への連絡等
- ③ 感染症対策、熱中症対策等、マニュアルに則った指導・対応
 - ・換気、手洗い等の徹底。
 - ・熱中症は適切な対策を講じれば防げるもの

2 豊かな心の育成

～自分らしさを大切にして、みんなのことを考えながら行動～

- ① 自身の成長に目を向け、自己肯定感・自己有用感を感じられる指導
 - ・生活習慣・学習習慣の徹底 ・あいさつ、礼儀、感謝の気持ち
 - ・活躍できる場を意図的に設定 ほめて、認めて、励まし、伸ばす支援
 - ・合理的配慮の共通理解。発達相談室との連携。チーム赤堀小で個に応じた支援。
- ② なりたい自分を目指す心を育てる
 - ・職業だけでなく、性格、行動、毎日の生活について「なりたい自分」を考え行動できるように。
 - ・キャリアパスポート、めあてカードの活用。達成できたかを振り返ることのできる目標設定。
- ③ 児童が考え、互いを認め合い、集団でやり遂げる楽しさや喜びを感じられる指導
 - ・特別活動や総合的な学習の時間を柱として、自分たちで考え実行する児童の育成
 - ・行事だけでなく、毎日の授業や毎日の生活から感じる集団生活のよさ

3 確かな学力の育成

～できる・分かる喜びと学ぶ楽しさを感じる～

- ① 児童一人一人が活躍し、学びの主役となる指導
 - ・授業者がコーディネーターとなり、児童の思いや考えを伝え合う活動の充実
 - ・目指す子供の姿を明確にした「めあて」と「まとめ」の徹底。学習の流れが分かる板書の工夫。
- ② ICT、タブレットの有効活用
 - ・学習道具の1つとして扱い、多様な考えや表現を生み出し、理解を深める
 - ・他の児童の意見に触れる機会を増やし、自身の考えを深める
 - ・「はばたく群馬の指導プランⅡ」実践事例サイト、ISM、研究班だより等の活用
- ③ 家庭学習の工夫
 - ・家庭学習の手引きの活用。家庭学習強化週間の実施。赤堀地区共通の家庭学習リーフ。
 - ・タブレットの活用等による個に応じた課題の提示

4 保護者、地域と連携・協働した教育の推進

～地域のよさを知り、地域を誇りに思う～

- ① 地域資源の活用
 - ・赤堀自然里山クラブによる環境学習。小菊の会との連携。
 - ・赤堀図書館や赤堀歴史民俗資料館等の活用
- ② 地域と共に児童を育てる
 - ・赤堀学府の推進 学校評議員会による教育活動の充実
 - ・登下校の安全指導 民生児童委員会連絡会議との連携
- ③ 保護者連携
 - ・親子のコミュニケーションを促す「親子で会話の日」の実施（毎月第3金曜日）
 - ・学習参観・懇談会、教育相談の実施

5 チーム赤堀小、赤堀小教職員の一員として

～認め合い、支え合い、高め合う職員集団に～

- ① 迅速・真摯・丁寧を心がける
 - ・電話対応：学校名、名前、待たせない
 - ・事前は説明、事後は言い訳
- ② 問題行動の早期発見・早期解決
 - ・報告・連絡・相談を的確に行う 担当→学年主任等→教頭→校長
 - ・ケース会議の実施
- ③ 記憶より記録
 - ・時系列で、事実を記録 ・客観的な事実にもとづく指導
- ④ 服務規律の遵守
 - ・情報管理、金銭管理、交通安全、ハラスメント等
- ⑤ 心と体の健康に留意し、ワークライフバランスを考える
 - ・計画的業務、お互い様の精神、一人で抱え込まない